番号	キーワード	テーマ	講義者	学科及び職階	内容
H-1	食と住環境	SDGs12。つくる責任　つかう責任 SDGs14。海の豊かさを守ろう 分離のはなし	田中　孝徳	工学部／基礎理工学科　環境化学専攻　講師	食品工業や化学工業だけではなく環境保全といった私たちの生活を豊かに暮らしやすくする技術の一つに“わける”というものがあります。 SDGsのうち、水循環やリサイクルといった資源に関わる問題解決にはこの“わける”が重要になってきます。 この講義では様々な分離操作について、わける対象の大きさや性質について解説し、その仕組みを学んでいただきます。
H-2	食と住環境	SDGs6。安全な水とトイレを世界中に ～住環境とエネルギー～	中田　亮生	建築･デザイン学部／空間デザイン専攻　教授	近年、私たちが住む住宅の電源として、燃料電池を使った商品が開発、販売されています。燃料電池は、水素などの燃料からシンプルな化学反応によって電気を作り出す、持続可能かつ近代的なエネルギー源として注目されています。自宅で電気を作れると停電時にも非常用電源として使えることもあり、安心です。自動車にも搭載され、徐々に私たちの生活の中に浸透してきています。ここでは、その燃料電池の仕組みと、優れた点、問題点など、キットを使った実験を含めた授業を行います。
H-3	食と住環境	「食」と「調理」の計測技術	新川　拓也	健康情報学部／医療工学専攻　教授	「家の味」「お袋の味」って本当にあるの？料理上手な人って、何を作っても上手…なぜ？身近な「食」と「調理」、たくさんの疑問があります。ではそれを測って解明！でもどうやって？講師はエンジニア、計測技術を駆使してそれを明らかにしようと奮闘します。うまくいかなかった失敗例も含めてご紹介いたします。